

【切手デザイン】

モダンな画風で一世を風靡した、新発田が生んだ天才画家落谷虹児の作品をデザインしたフレーム切手です。特に人気のある『花嫁人形』は、童謡『花嫁人形』の歌詞とともにデザインに取り入れ、魅力満載のフレーム切手が完成しました。

落谷虹児 フロアール

明治31年、現在の新発田市に生まれ、14歳で上京して日本画を学び、21歳で少女雑誌から挿絵画家としてデビューしました。童謡『花嫁人形』の持ちは、25歳の虹児が1913年に『守りて』で発表された。家の形山築夫の名曲に感銘を受けて、日本で最も広く愛唱されるようになったのです。



落谷虹児記念館 (新発田市)

落谷虹児の作品をより多くの人たちに観てもらうために、落谷家内井田邸の跡地で、平成62年11月に開館しました。平成10年に国の「公営建築百選」に選ばれた記念館の姿は、ロケーションが素晴らしく、美しいです。館内の展示は、虹児の作品や通品の数々には、訪れる人たちに大正ロマンへと導いてくれます。



花嫁人形

詩 落谷虹児
曲 山築夫

金と緞子の帯しめながら
花嫁御寮はなせ泣くのだから

文島田に髪結ひながら
花嫁御寮はなせ泣くのだから

あねさんこの花嫁人形は
赤い鹿の子の振袖きてる

泣げ鹿の子のたもとがきれる
涙で鹿の子の赤い紅にじむ

泣くに泣かれぬ花嫁人形は
赤い鹿の子の帯が衣袂

JASRAC 出1414895-401



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
- 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

